

広報担当がどこでも取材に行きます！

あなたの笑顔を見逃しません！

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Town Hot News

まちの ほっとニュース

総務課 文書広報係 ☎ 5111 内線156

磨け！自自力。十和田雇用創出プラン研修実施中！

11月14日総合体育センターで、PR実務研修から開催され、観光PRに関心のある市民など40人が受講しました。本事業は十和田市雇用創造推進協議会が主催し、就業に役立つスキルアップを図り、平成21年度までの雇用創出目標人数「328人」を目指します。



十和田湖畔地域の観光再生を目指して

11月12日奥入瀬溪流グランドホテルで、地域活性化シンポジウム「十和田湖畔地域の観光再生を目指して」(地方自治法施行60周年記念事業)が開催されました。「持続可能な観光のあり方とは」と題し基調講演をした(株)星野リゾート星野佳路社長は、流行だけで風化しない観光地にしていくため、十和田湖のブランド力を評価・分析し、観光地のコンセプトを定める重要性を強調しました。

続いて青森大学附属総合研究所の末永洋一所長をコーディネーターに、星野さんや十和田湖畔観光事業者の喫茶「憩い」店主太田勝男さんらがパネルディスカッションを行いました。



宇樽部トンネル消防訓練実施

十和田湖畔の宇樽部地区と休屋地区を結ぶ国道103号宇樽部トンネル内(全長1,450メートル)で、人身事故や車両火災を想定した消防訓練が行われ、消防署や消防団、県、警察の職員など46人の関係者が参加しました。

今回の訓練は、単独事故を起こした運転手が対向車の下敷きとなり、車両火災も発生という想定で実施されました。

訓練では、トンネル内に設置されている非常電話による通報、初期消火、消防署員による消火・救助活動など、有事における関係機関の連携強化を確認しました。



遊んで学んだ土佐町交流

市内の小学生10人が、9月15日～17日の2泊3日の日程で、本市と姉妹都市提携している高知県土佐町を訪問し、地元の小中学生と交流しました。十和田市では体験のできないクライミングや、雄大な早明浦ダムの見学に胸を弾ませ、土佐町の風土や歴史などを学び、少したくましくなって帰ってきました。



十和田市現代美術館開館直前フォーラム

11月10日中央公民館ホールで、市民ら180人が参加し、現代美術館開館直前フォーラムを開催。第1部はNHK新日曜美術館で司会を務めたはなさんによるトーク、第2部は森美術館館長の南條史生さん、本市在住の画家明山應義さん、現代美術館出展作家の栗林隆さん、そしてはなさんの4人によるパネルディスカッションが行われ、「アートとまちづくり」のテーマに幅広い意見が出されました。

